

平成25年度

第2回 県政モニターアンケート



長野県

目 次

調査の概要	-----	1
結果の内容	-----	5
(1) 望ましい県の行政組織のあり方について		
問 1 今後力を入れていくべき行政分野		6
問 2 組織運営の留意点		7
問 3 県の組織についての意見・提案(自由意見)		8
(2) 子どもの性被害の防止について		
問 4 長野県の子どもの性被害の現状		9
問 5 子どもの性被害が悪化又は深刻化している原因		10
問 6 「県民総ぐるみの運動」について		11
問 7 子どもを性被害から守るために必要な対応		12
問 8 今後の性被害の防止策		13
(3) 道路整備について		
問 9 今後優先して整備すべき道路		14
問 10 日常利用している県内の道路について、優先的に進めるべき対策		15
(4) 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について		
問 11 信州オリジナル食材の認知度		16
問 12 長野県産又は地場産の意識		18
問 13 食生活上の実践度		20
調査票	-----	22

I 調査の概要

1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政モニターアンケート調査」を実施しました。今回の調査においては下記の4項目について13問を設定しました。

- (1) 望ましい県の行政組織のあり方について
「総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン）」を着実に推進していくため、本年度検討予定の県組織のあり方について県民の意識を調査
- (2) 子どもの性被害の防止について
子どもを性被害から守るため、子どもの性被害の現状と性被害から守る方策について調査
- (3) 道路整備について
私達の生活に欠かせないものである道路について、今後の道路のあり方を検討するために調査
- (4) 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について
平成24年度第1回調査（8月実施）と同一の質問を設定し、この間の変化を把握するために調査

2 調査の方法

- (1) 調査地域：長野県全域
- (2) 調査対象：県政モニター 1,219人
- (3) 調査方法：郵送又はインターネット
- (4) 調査期間：平成25年6月7日（金）から6月17日（月）

3 回収結果

回収数（率） 822人（67.4%）

【回答方法別】

（上段 回答者数：中段 対象者数：下段 割合）

	全体回答率	（回答方法内訳）	
		郵送	インターネット
総数	822	599	223
	1,219	777	442
	67.4%	77.1%	50.5%
公募	54	-	54
	102	-	102
	52.9%	-	52.9%
無作為	768	599	169
	1,117	777	340
	68.8%	77.1%	49.7%

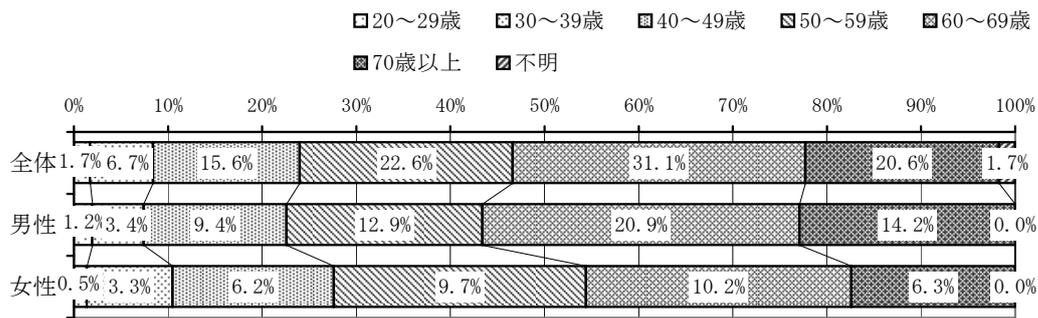
4 回答状況

【男女別・年代別】

（上段 回答者数：下段 割合）

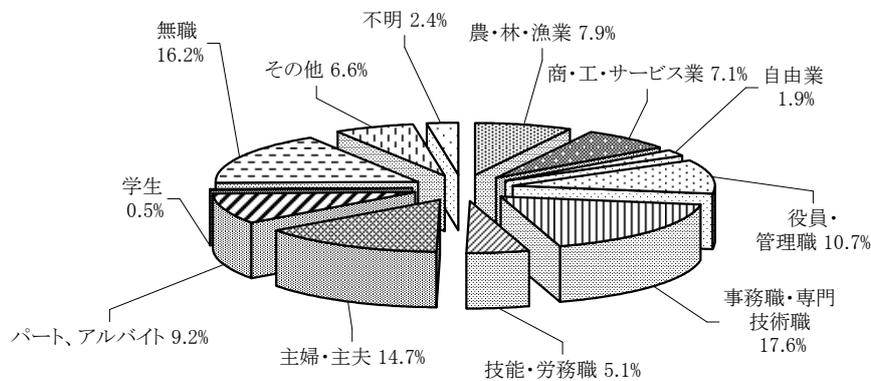
	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	822	14	55	128	186	256	169	14
	100.0%	1.7%	6.7%	15.6%	22.6%	31.1%	20.6%	1.7%
男性	510	10	28	77	106	172	117	-
	62.0%	1.2%	3.4%	9.4%	12.9%	20.9%	14.2%	-
女性	298	4	27	51	80	84	52	-
	36.3%	0.5%	3.3%	6.2%	9.7%	10.2%	6.3%	-
不明	14	-	-	-	-	-	-	14
	1.7%	-	-	-	-	-	-	1.7%

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=822)に対する割合



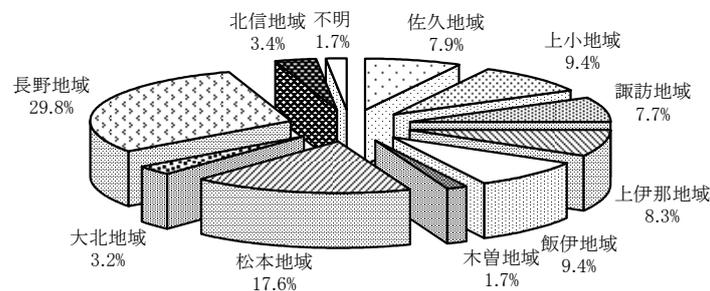
【職業別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	99	8.1%	65	7.9%	65.7%
商・工・サービス業	99	8.1%	58	7.1%	58.6%
自由業	24	2.0%	16	1.9%	66.7%
役員・管理職	129	10.6%	88	10.7%	68.2%
事務職・専門技術職	213	17.5%	145	17.6%	68.1%
技能・労務職	67	5.5%	42	5.1%	62.7%
主婦・主夫	172	14.1%	121	14.7%	70.3%
パート、アルバイト	115	9.4%	76	9.2%	66.1%
学生	18	1.5%	4	0.5%	22.2%
無職	187	15.3%	133	16.2%	71.1%
その他	90	7.4%	54	6.6%	60.0%
不明	6	0.5%	20	2.4%	-
合計	1,219	100.0%	822	100.0%	67.4%



【地域別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	103	8.4%	65	7.9%	63.1%
上小地域	109	8.9%	77	9.4%	70.6%
諏訪地域	91	7.5%	63	7.7%	69.2%
上伊那地域	113	9.3%	68	8.3%	60.2%
飯伊地域	112	9.2%	77	9.4%	68.8%
木曾地域	17	1.4%	14	1.7%	82.4%
松本地域	223	18.3%	145	17.6%	65.0%
大北地域	35	2.9%	26	3.2%	74.3%
長野地域	367	30.1%	245	29.8%	66.8%
北信地域	49	4.0%	28	3.4%	57.1%
不明	-	-	14	1.7%	-
合計	1,219	100.0%	822	100.0%	67.4%



5 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。
※回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「Ⅱ結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「4 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号等の記入がなく、回答者の属性（性別、年代等）が不明なものを示している。

Ⅱ 結果の内容

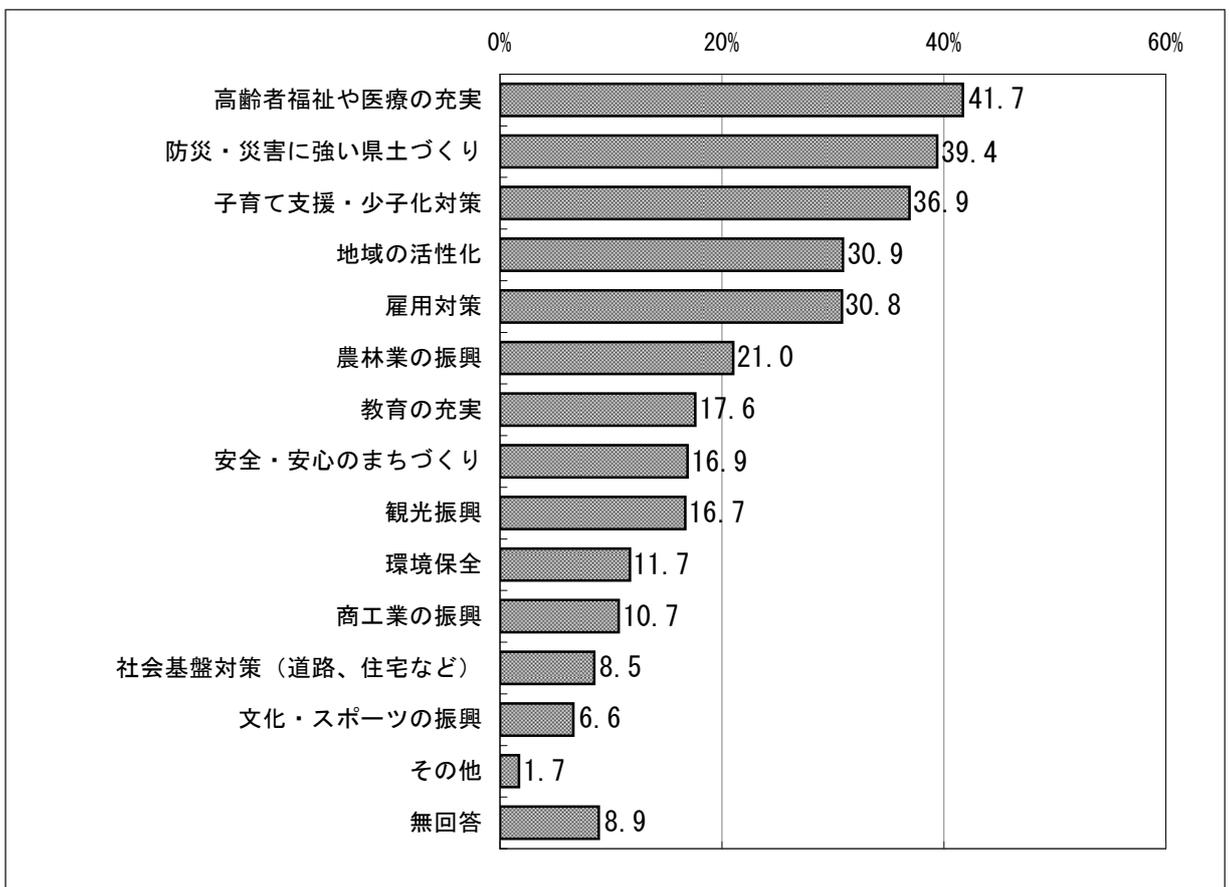
《望ましい県の行政組織のあり方について》

＜今後力を入れていくべき行政分野＞
「高齢者福祉や医療の充実」が約4割

問1 あなたは、長野県が今後どのような行政分野に力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください（○は3つまで）。

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
高齢者福祉や医療の充実		343	41.7
防災・災害に強い県土づくり		324	39.4
子育て支援・少子化対策		303	36.9
地域の活性化		254	30.9
雇用対策		253	30.8
農林業の振興		173	21.0
教育の充実		145	17.6
安全・安心のまちづくり		139	16.9
観光振興		137	16.7
環境保全		96	11.7
商工業の振興		88	10.7
社会基盤対策(道路、住宅など)		70	8.5
文化・スポーツの振興		54	6.6
その他		14	1.7
無回答		73	8.9

●「高齢者福祉や医療の充実」が41.7%で最も高く、次いで「防災・災害に強い県土づくり」(39.4%)、「子育て支援・少子化対策」(36.9%)となっている。

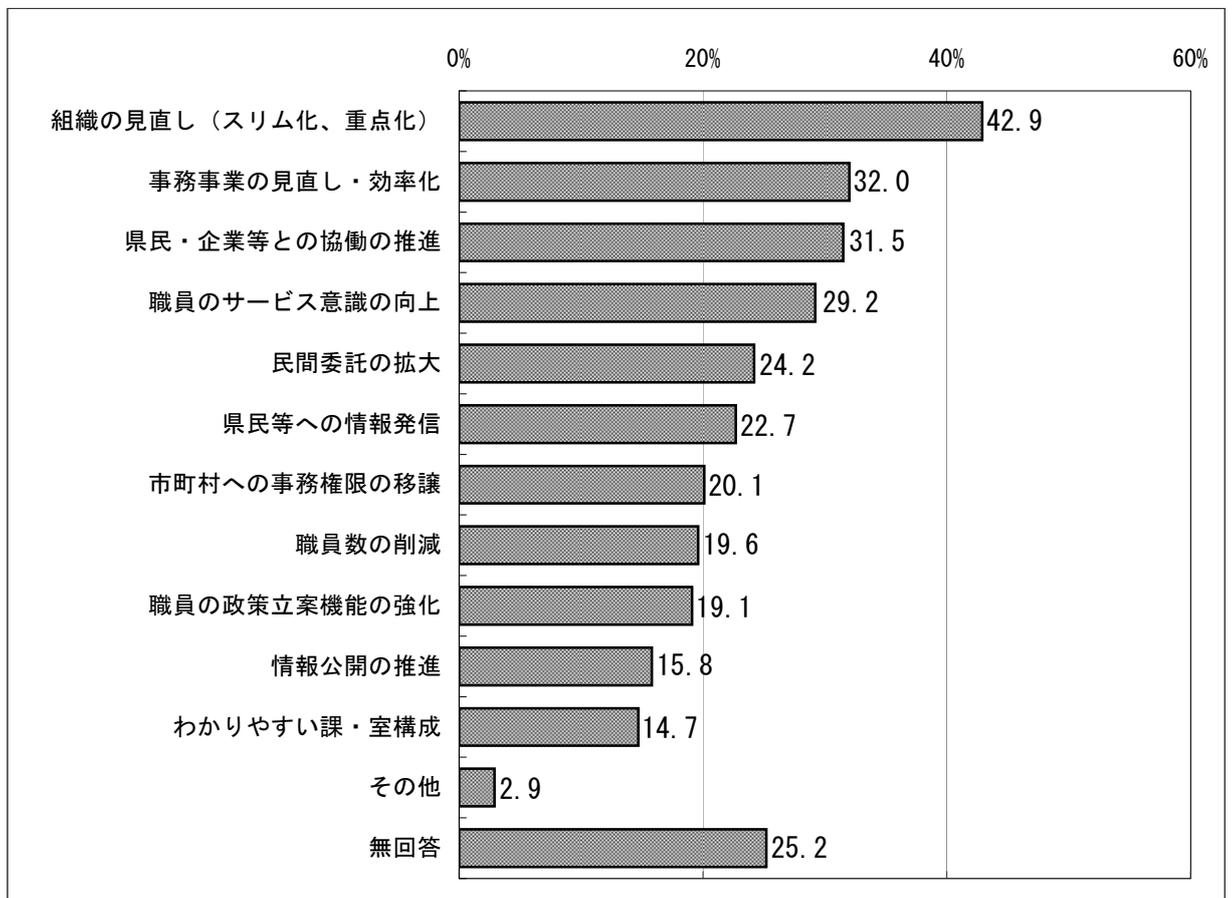


＜組織運営の留意点＞
「組織の見直し(スリム化、重点化)」が4割超

問2 あなたは、県はどのような点に留意して組織運営をおこなうべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください（〇は3つまで）。

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
組織の見直し(スリム化、重点化)		353	42.9
事務事業の見直し・効率化		263	32.0
県民・企業等との協働の推進		259	31.5
職員のサービス意識の向上		240	29.2
民間委託の拡大		199	24.2
県民等への情報発信		187	22.7
市町村への事務権限の移譲		165	20.1
職員数の削減		161	19.6
職員の政策立案機能の強化		157	19.1
情報公開の推進		130	15.8
わかりやすい課・室構成		121	14.7
その他		24	2.9
無回答		207	25.2

●「組織の見直し(スリム化、重点化)」が42.9%で最も高く、次いで「事務事業の見直し・効率化」(32.0%)、「県民・企業等との協働の推進」(31.5%)となっている。



＜県の組織についての意見・提案(自由意見)＞
 「課室名のわかりやすさ」、「総合案内窓口の設置」、「市町村との役割分担の明確化」に関する意見が比較的多く寄せられた。

問3 県の組織について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。

	組織に関する自由意見の総数= 84	回答数 (人)	割合 (%)
名称から何を担当しているのかわからないものがあるので、課室名をわかりやすくするべき。		11	13.1
総合案内窓口があるとよい。		11	13.1
市町村との役割分担をはっきりするべき。		10	11.9
広報誌に組織図や窓口一覧表などを載せたらどうか。		7	8.3
職員一人ひとりの意識改革が必要ではないか。		6	7.1
組織の縦割りを解消する必要がある。		6	7.1
職員数が過剰ではないか。		4	4.8
庁舎の組織の表示を丁寧にするべき。		3	3.6
職員の異動の長期化が必要ではないか。		3	3.6
窓口や電話対応のたらい回しがある。		3	3.6
若者に目を向けた政策を実施するべき。		2	2.4
組織間の連携が薄いのではないか。		2	2.4
土日に開庁して欲しい。		2	2.4
組織はスリム化するべき。		2	2.4
その他単数回答		12	14.3

《子どもの性被害の防止について》

＜長野県の子どもの性被害の現状について＞

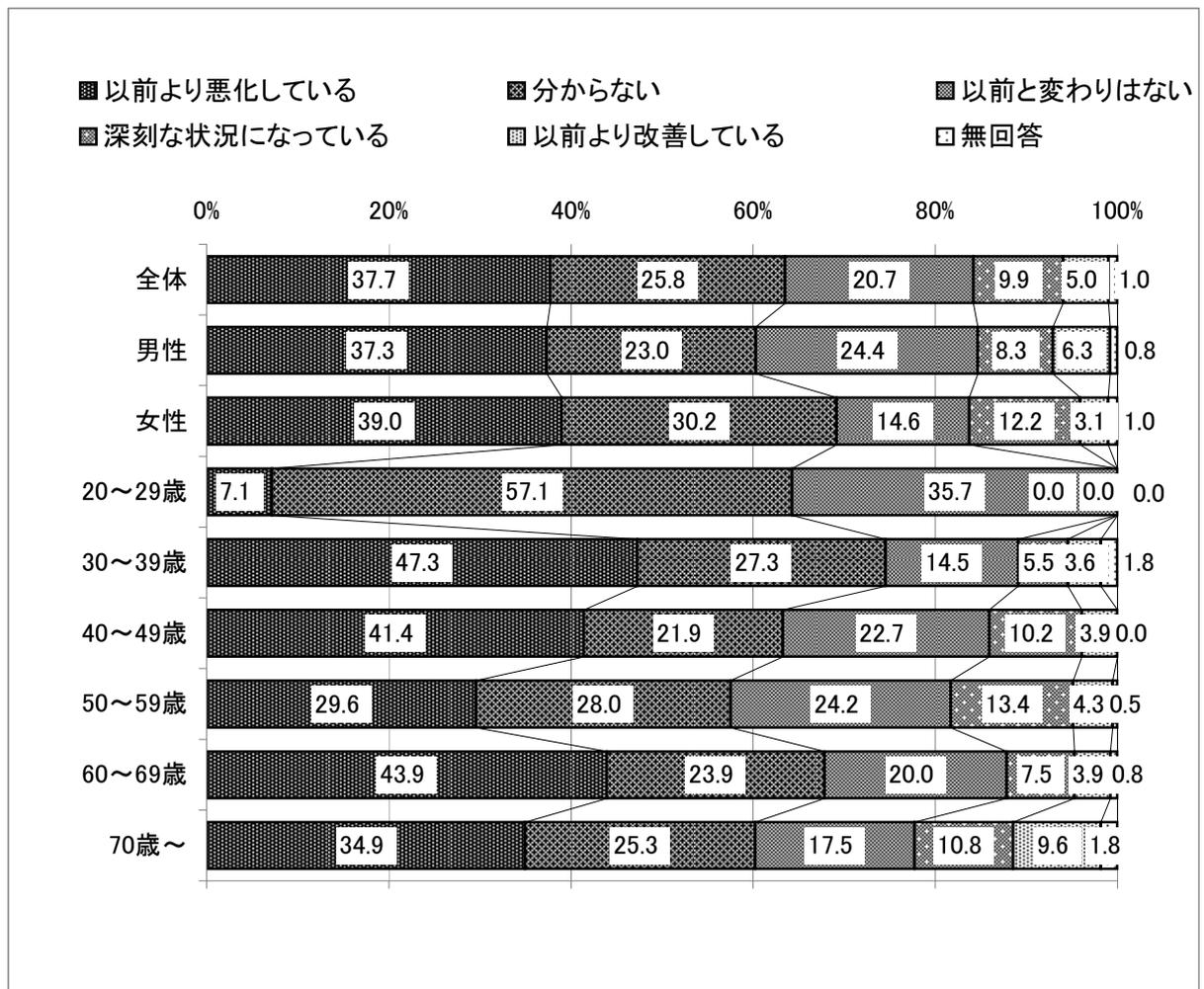
「以前より悪化している」と「深刻な状況になっている」を合わせて約5割

問4 長野県の子どもの性被害の現状(この1年程度)についてどう感じていますか。あてはまるものを選んでください。

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
以前より悪化している		310	37.7
分からない		212	25.8
以前と変わりはない		170	20.7
深刻な状況になっている		81	9.9
以前より改善している		41	5.0
無回答		8	1.0

●「以前より悪化している」が37.7%と最も高く、次いで「分からない」(25.8%)、「以前と変わりはない」(20.7%)となっている。

●「以前より悪化している」と「深刻な状況になっている」を合わせた割合は、男性(45.6%)より女性(51.2%)の方が高く、年代別では30歳代(52.8%)、40歳代(51.6%)で高い。

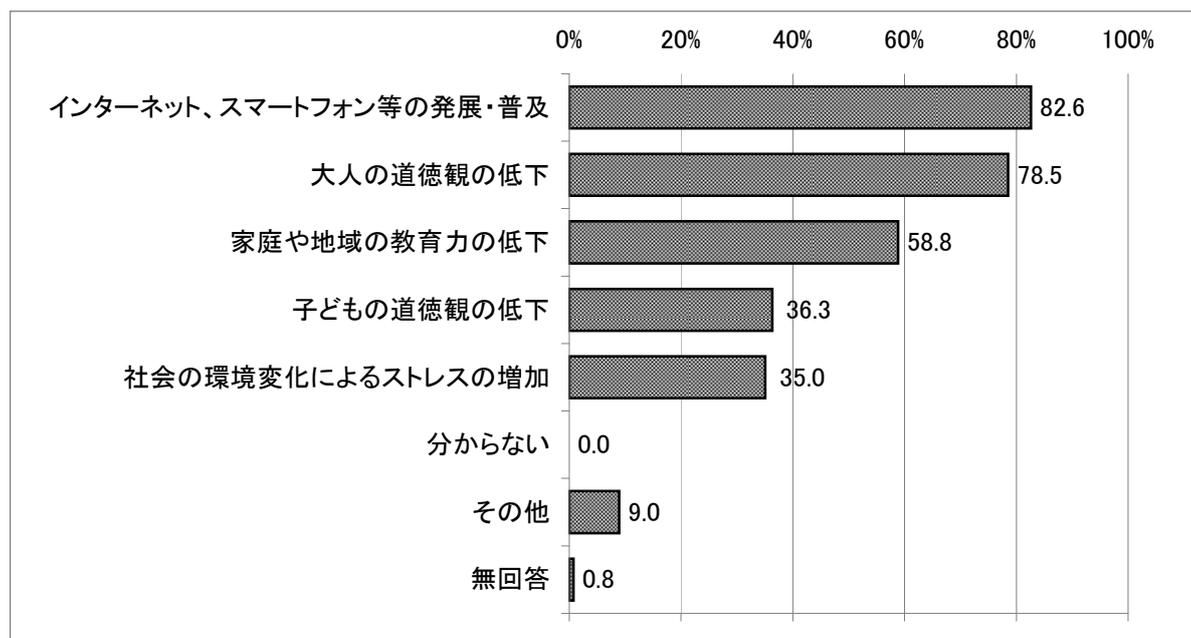


＜子どもの性被害が悪化又は深刻化している原因について＞
 「インターネット、スマートフォン等の発展・普及」が8割超

問5 問4で「以前より悪化している」、「深刻な状況になっている」と回答した方にお伺いします。その原因は何だと考えますか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	n=391	回答数 (人)	割合 (%)
インターネット、スマートフォン等の発展・普及		323	82.6
大人の道德観の低下		307	78.5
家庭や地域の教育力の低下		230	58.8
子どもの道德観の低下		142	36.3
社会の環境変化によるストレスの増加		137	35.0
分からない		0	0.0
その他		35	9.0
無回答		3	0.8

●「インターネット、スマートフォン等の発展・普及」が82.6%と最も高く、次いで「大人の道德観の低下」(78.5%)、「家庭や地域の教育力の低下」(58.8%)となっている。



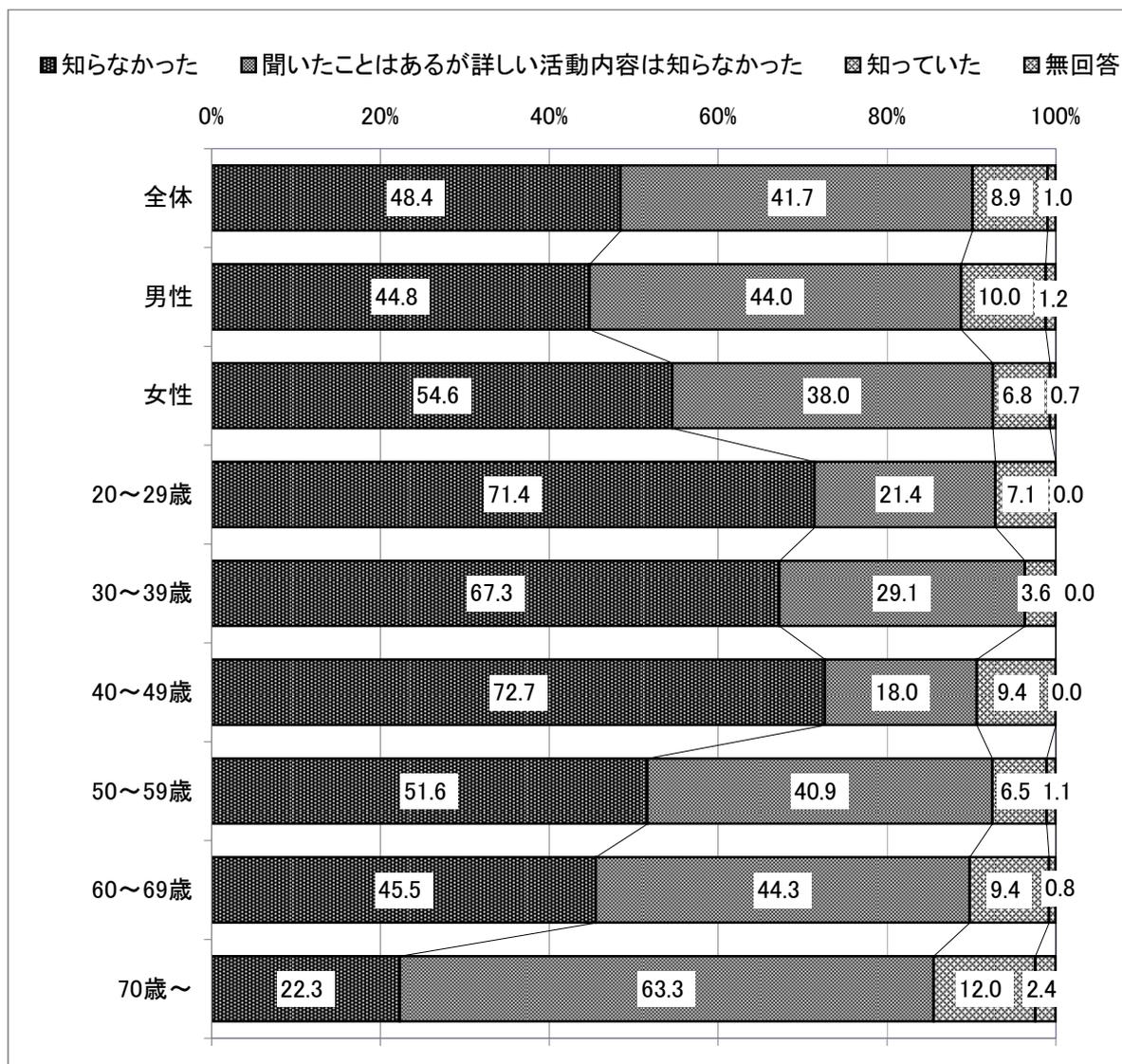
＜「県民総ぐるみの運動」について＞
「知らなかった」が約5割

問6 あなたは、子どもの健全育成(性被害の防止等)に取り組んでいる「県民総ぐるみの運動」について知っていましたか。あてはまるものを選んでください。(○は1つ)

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
知らなかった		398	48.4
聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった		343	41.7
知っていた		73	8.9
無回答		8	1.0

●「知らなかった」が48.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」(41.7%)となっている。

●「知らなかった」は、男性(44.8%)よりも女性(54.6%)のほうが高く、50歳未満の各年代で高い。

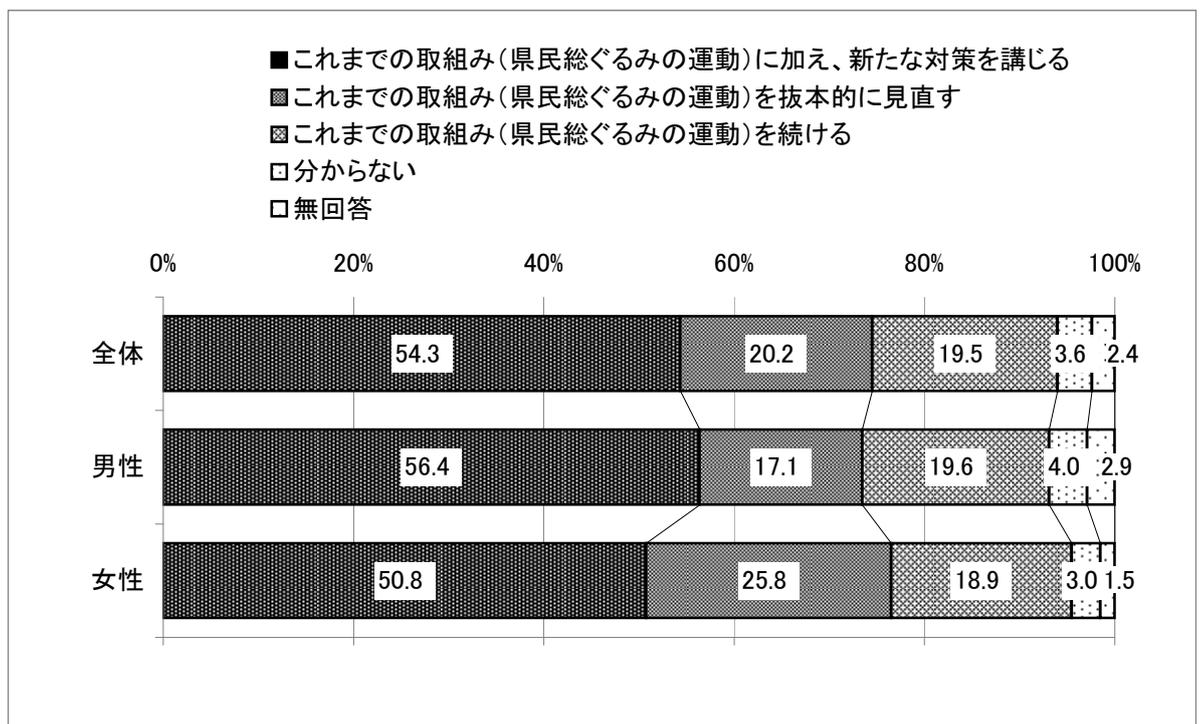


**<子どもを性被害から守るために必要な対応について>
「これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)に加え、新たな対策を講じる」が5割超**

問6で「知っていた」又は「聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」と答えた方にお伺いします。
問7 あなたは、今後、子どもを性被害から守るためにどのような対応が必要と考えますか。あてはまるものを選んでください。(○は1つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)に加え、新たな対策を講じる	226	54.3
これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を抜本的に見直す	84	20.2
これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を続ける	81	19.5
分からない	15	3.6
無回答	10	2.4

●「これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)に加え、新たな対策を講じる」が54.3%と最も高く、次いで「これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を抜本的に見直す」(20.2%)となっている。



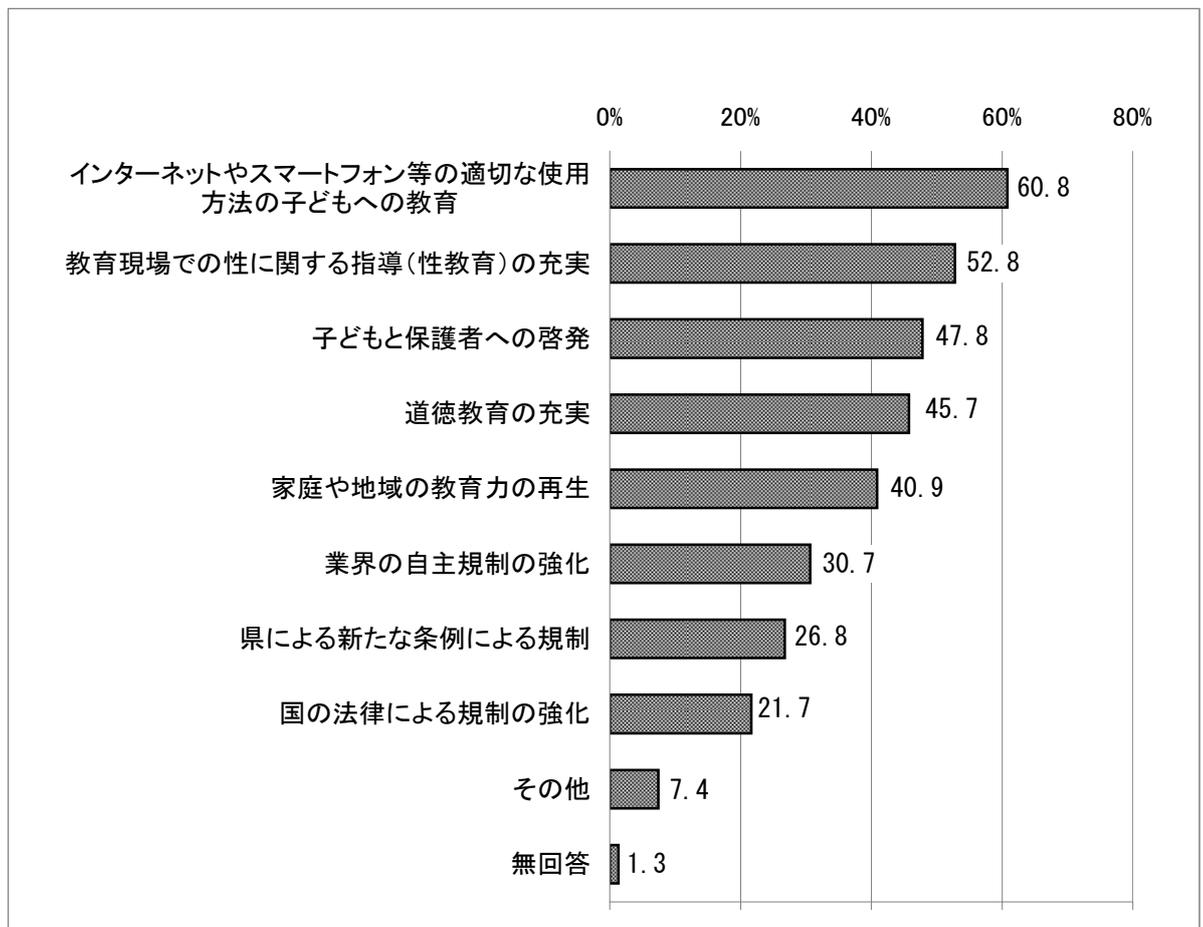
＜今後の性被害の防止策について＞

「インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育」が約6割

問8 あなたが、今後強化すべき又は新たに導入すべきと考える性被害の防止策について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	回答数 (人)	割合 (%)
インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育	500	60.8
教育現場での性に関する指導(性教育)の充実	434	52.8
子どもと保護者への啓発	393	47.8
道徳教育の充実	376	45.7
家庭や地域の教育力の再生	336	40.9
業界の自主規制の強化	252	30.7
県による新たな条例による規制	220	26.8
国の法律による規制の強化	178	21.7
その他	61	7.4
無回答	11	1.3

●「インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育」が60.8%と最も高く、次いで「教育現場での性に関する指導(性教育)の充実」(52.8%)、「子どもと保護者への啓発」(47.8%)となっている。



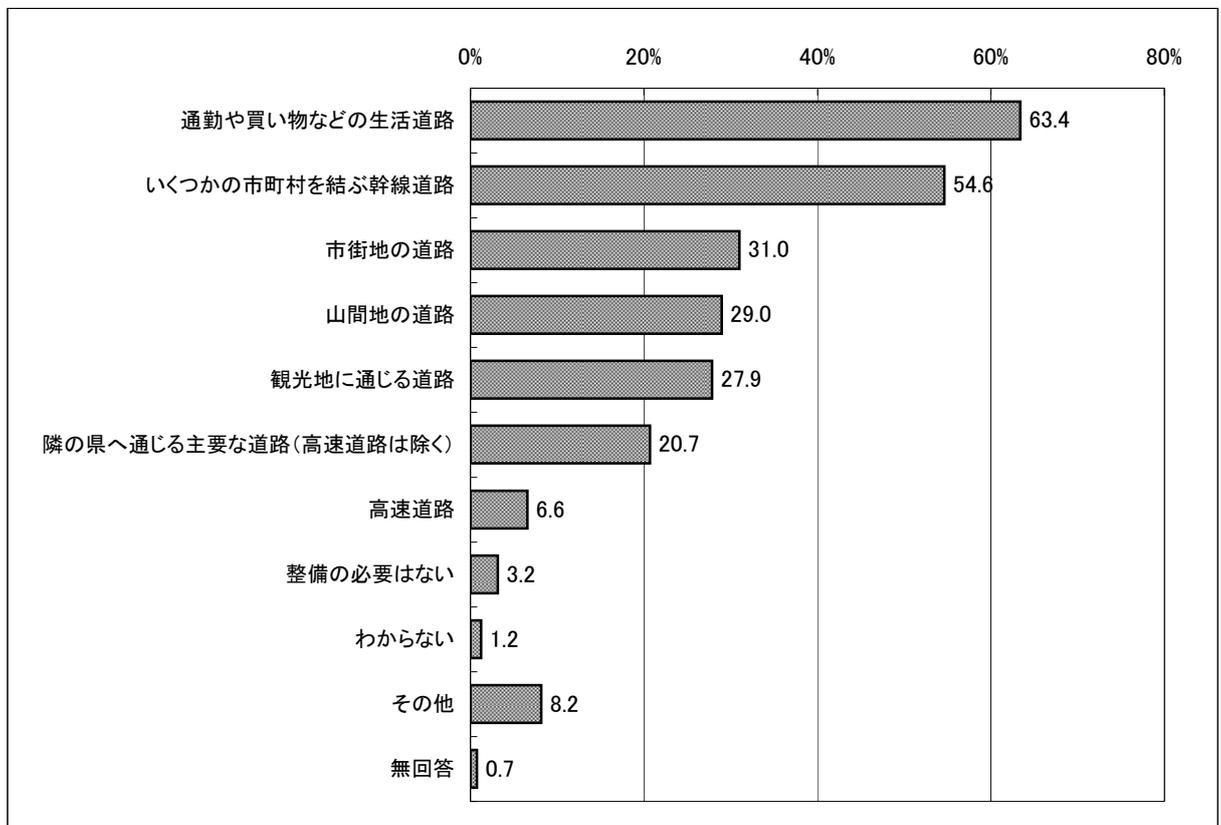
《道路整備について》

＜今後優先して整備すべき道路＞
「通勤や買い物などの生活道路」が6割超

問9 あなたは、今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。次の中から挙げてください。(3つまで)

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
通勤や買い物などの生活道路		521	63.4
いくつかの市町村を結ぶ幹線道路		449	54.6
市街地の道路		255	31.0
山間地の道路		238	29.0
観光地に通じる道路		229	27.9
隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)		170	20.7
高速道路		54	6.6
整備の必要はない		26	3.2
わからない		10	1.2
その他		67	8.2
無回答		6	0.7

●「通勤や買い物などの生活道路」が63.4%と最も高く、次いで「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」(54.6%)、「市街地の道路」(31.0%)となっている。

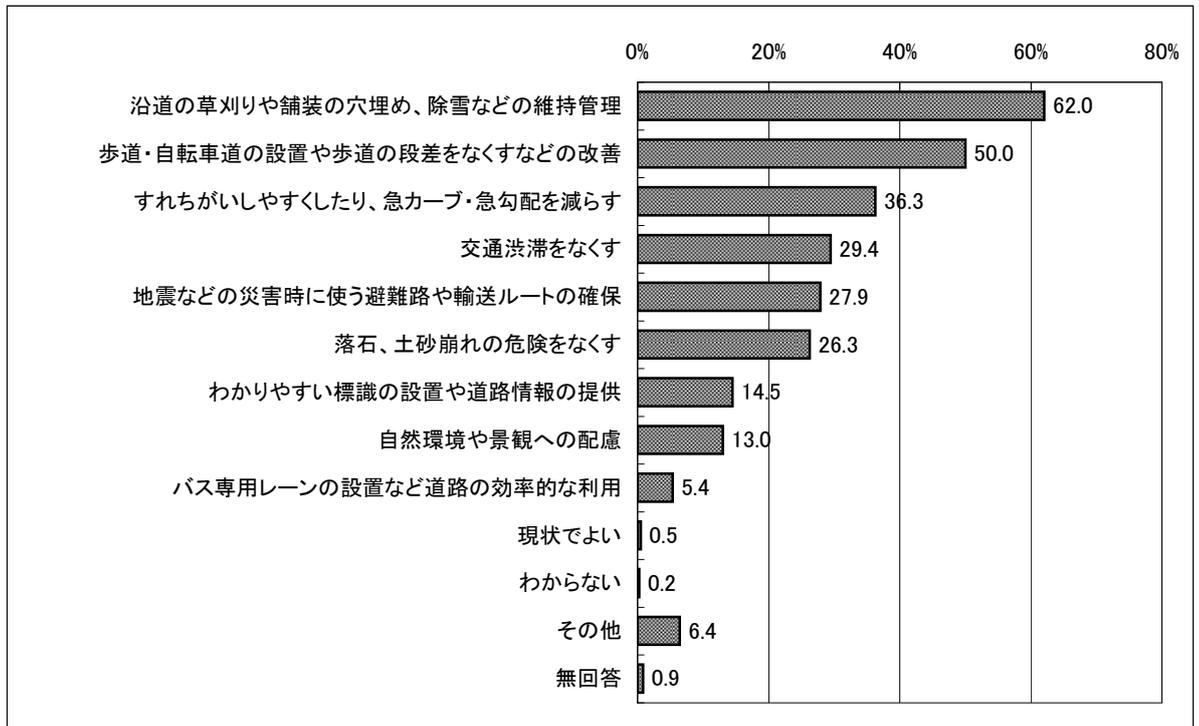


＜日常利用している県内の道路について、優先的に進めるべき対策＞
 「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が約6割

問10 あなたが日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。次の中から挙げてください。(3つまで)

	n=822	回答数 (人)	割合 (%)
沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理		510	62.0
歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善		411	50.0
すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす		298	36.3
交通渋滞をなくす		242	29.4
地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保		229	27.9
落石、土砂崩れの危険をなくす		216	26.3
わかりやすい標識の設置や道路情報の提供		119	14.5
自然環境や景観への配慮		107	13.0
バス専用レーンの設置、パークアンドライドや 時差出勤などによる道路の効率的な利用		44	5.4
現状でよい		4	0.5
わからない		2	0.2
その他		53	6.4
無回答		7	0.9

●「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が62.0%と最も高く、次いで「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」(50.0%)、「すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす」(36.3%)となっている。



《県産農産物の認知度・購入意識・食生活について》

＜信州オリジナル食材等の認知度＞

りんご3兄弟(シナノスイート・シナノゴールド・秋映)の認知度は7割を超えるとともに、前年度から順調に認知度が伸びている。また、「信州サーモン」も9割弱(約5ポイント増)と認知度が高い。

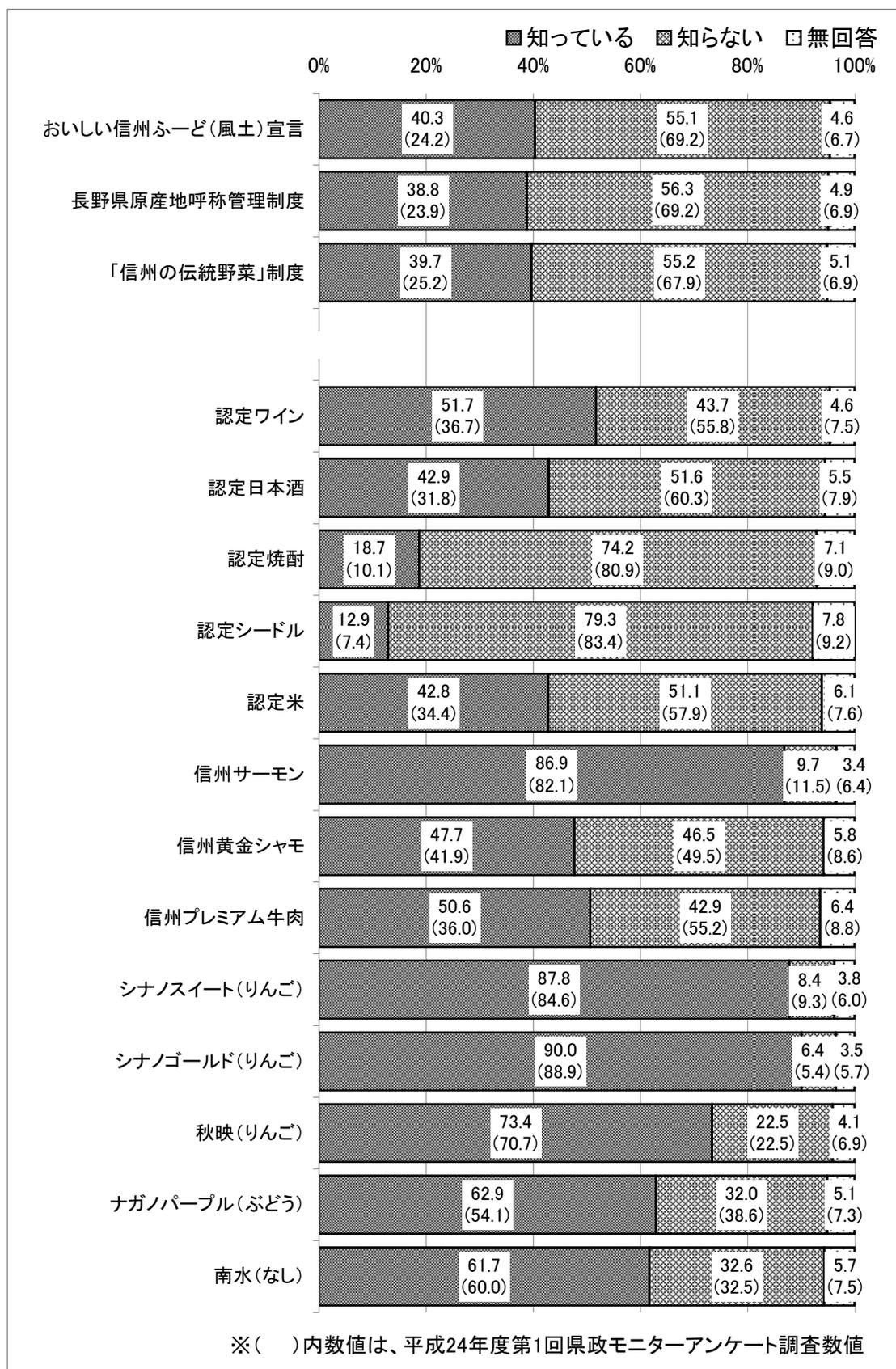
また、「おいしい信州ふーど(風土)」の認知度は約4割となり前年度から15ポイント以上の増加となった。

問11 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。

上段:回答者数(人)
下段:割合(%)
n=822 (H24年度はn=944)

	知っていますか			(参考)H24年度			
	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答	知っていますか			
				知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答	
◇県が取り組む認定制度について							
①	「おいしい信州ふーど(風土)」	331	453	38	228	653	63
		40.3	55.1	4.6	24.2	69.2	6.7
②	長野県原産地呼称管理制度	319	463	40	226	653	65
		38.8	56.3	4.9	23.9	69.2	6.9
③	「信州の伝統野菜」制度	326	454	42	238	641	65
		39.7	55.2	5.1	25.2	67.9	6.9
◇長野県のオリジナル食材について							
①	原産地呼称管理制度	425	359	38	346	527	71
	認定ワイン	51.7	43.7	4.6	36.7	55.8	7.5
②	認定日本酒	353	424	45	300	569	75
		42.9	51.6	5.5	31.8	60.3	7.9
③	認定焼酎	154	610	58	95	764	85
		18.7	74.2	7.1	10.1	80.9	9.0
④	認定シードル	106	652	64	70	787	87
		12.9	79.3	7.8	7.4	83.4	9.2
⑤	認定米	352	420	50	325	547	72
		42.8	51.1	6.1	34.4	57.9	7.6
⑥	信州サーモン	714	80	28	775	109	60
		86.9	9.7	3.4	82.1	11.5	6.4
⑦	信州黄金シャモ	392	382	48	396	467	81
		47.7	46.5	5.8	41.9	49.5	8.6
⑧	信州プレミアム牛肉	416	353	53	340	521	83
		50.6	42.9	6.4	36.0	55.2	8.8
⑨	シナノスイート(りんご)	722	69	31	799	88	57
		87.8	8.4	3.8	84.6	9.3	6.0
⑩	シナノゴールド(りんご)	740	53	29	839	51	54
		90.0	6.4	3.5	88.9	5.4	5.7
⑪	秋映(りんご)	603	185	34	667	212	65
		73.4	22.5	4.1	70.7	22.5	6.9
⑫	ナガノパープル(ぶどう)	517	263	42	511	364	69
		62.9	32.0	5.1	54.1	38.6	7.3
⑬	南水(なし)	507	268	47	566	307	71
		61.7	32.6	5.7	60.0	32.5	7.5

● 信州オリジナル食材では、「シナノゴールド」(90.0%)、「シナノスイート」(87.8%)とりんごの認知度が高く、「信州サーモン」(86.9%)が続いている。



＜長野県産又は地場産の意識＞

米、野菜、果物、きのこは「常に意識して購入している」、「時々意識して購入している」を合わせた割合が7割を超え、前年度に続き高い水準で推移している。

問12 あなたは、日頃、農産物を購入する際に、「長野県産又は地場産」を意識していますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。

n=822 (H24年度はn=944)

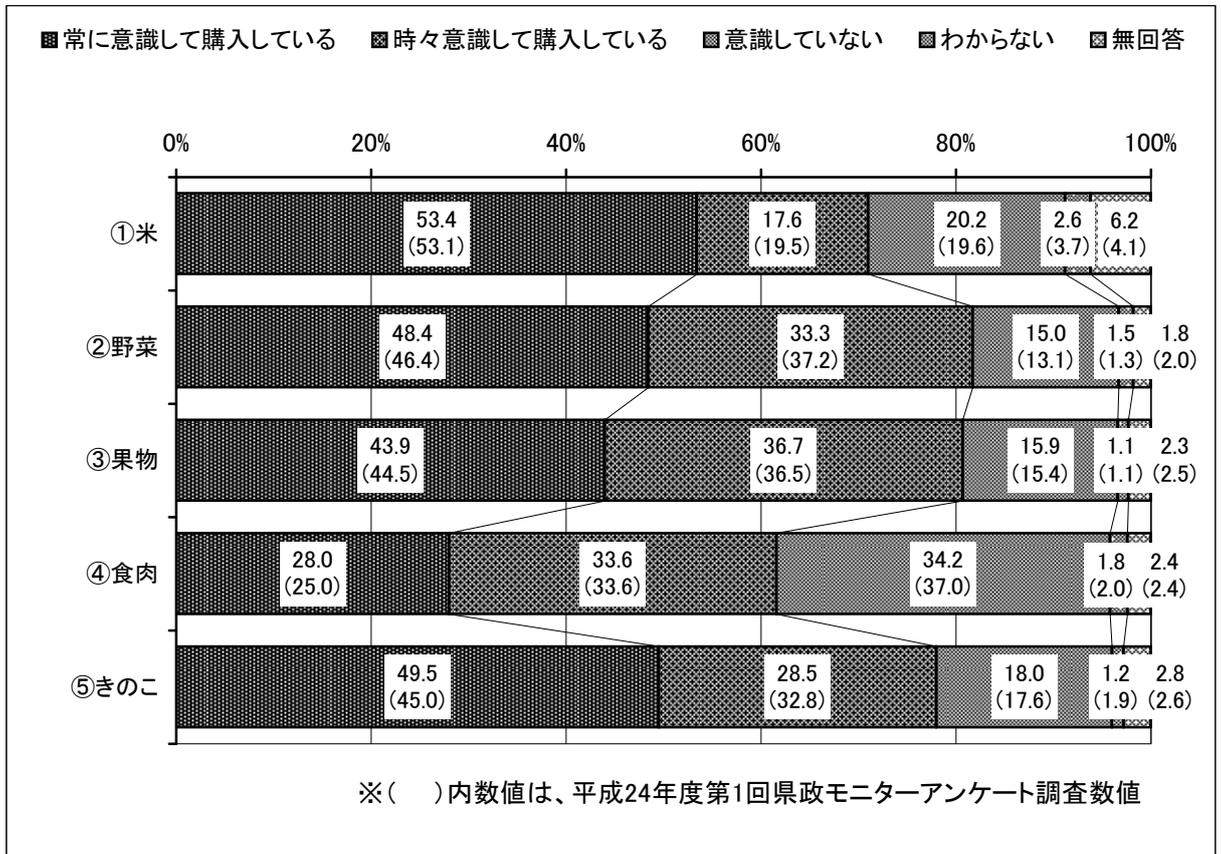
①米	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度		④食肉	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)				回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	439	53.4	501	53.1	常に意識して購入している	230	28.0	236	25.0
時々意識して購入している	145	17.6	184	19.5	時々意識して購入している	276	33.6	317	33.6
意識していない	166	20.2	185	19.6	意識していない	281	34.2	349	37.0
わからない	21	2.6	35	3.7	わからない	15	1.8	19	2.0
無回答	51	6.2	39	4.1	無回答	20	2.4	23	2.4

②野菜	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度		⑤きのこ	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)				回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	398	48.4	438	46.4	常に意識して購入している	407	49.5	425	45.0
時々意識して購入している	274	33.3	351	37.2	時々意識して購入している	234	28.5	310	32.8
意識していない	123	15.0	124	13.1	意識していない	148	18.0	166	17.6
わからない	12	1.5	12	1.3	わからない	10	1.2	18	1.9
無回答	15	1.8	19	2.0	無回答	23	2.8	25	2.6

③果物	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	361	43.9	420	44.5
時々意識して購入している	302	36.7	345	36.5
意識していない	131	15.9	145	15.4
わからない	9	1.1	10	1.1
無回答	19	2.3	24	2.5

【品目別】

●野菜、果物は8割以上が「長野県産又は地場産」を意識して購入している。また、米、きのこも7割を超えており、総じて農産物購入時における「長野県産又は地場産」の意識度は高い。



＜食生活上の実践度＞

食生活上の実践において、すべての項目で「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者は全体の57.2%(前年度(54.6%)から微増)となっている。

問13 あなたは、日常の食生活についてどの程度実践していますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。

n=822(H24年度)はn=944)

①食事を楽しむ	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	233	28.3	259	27.4
おおむねできている	462	56.2	531	56.3
あまりできていない	109	13.3	136	14.4
まったくできていない	7	0.9	4	0.4
無回答	11	1.3	14	1.5

②主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	210	25.5	208	22.0
おおむねできている	471	57.3	488	51.7
あまりできていない	123	15.0	158	16.7
まったくできていない	8	1.0	9	1.0
無回答	10	1.2	81	8.6

③ごはんなどの穀類をしっかりとる	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	419	51.0	447	47.4
おおむねできている	329	40.0	349	37.0
あまりできていない	47	5.7	64	6.8
まったくできていない	5	0.6	2	0.2
無回答	22	2.7	82	8.7

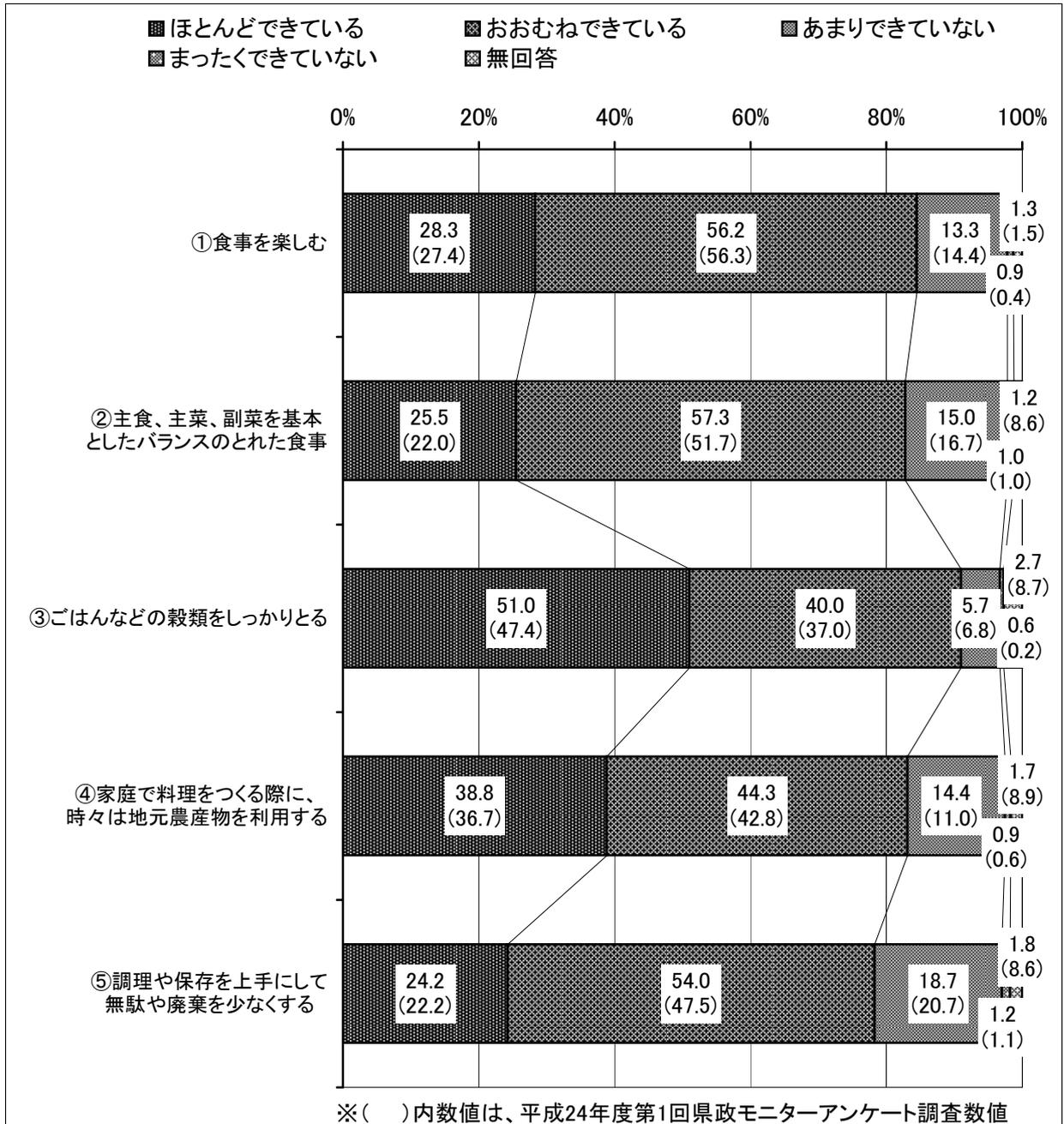
④家庭で料理をつくる際に、時々は地元農産物を利用する	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	319	38.8	346	36.7
おおむねできている	364	44.3	404	42.8
あまりできていない	118	14.4	104	11.0
まったくできていない	7	0.9	6	0.6
無回答	14	1.7	84	8.9

⑤調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	199	24.2	210	22.2
おおむねできている	444	54.0	448	47.5
あまりできていない	154	18.7	195	20.7
まったくできていない	10	1.2	10	1.1
無回答	15	1.8	81	8.6

総合	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H24年度	
			回答数(人)	割合(%)
①から⑤のすべてが「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者	470	57.2	515	54.6
①から⑤の中に1項目以上「あまりできていない」又は「まったくできていない」と回答した者	352	42.8	429	45.4

【区分別】

●「ごはんなどの穀物をしっかりとる」は9割以上が「できている」と答えている。
 また、「家庭で料理をつくる際に時々地元農産物を利用する」「食事を楽しむ」「主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事」の実践についても8割以上が「できている」であり、食生活上の実践度はいずれも高い水準にある。



Ⅲ 調 査 票

--	--	--	--	--	--	--	--

【お願い】
アンケート回答の前に県政モニターID
番号を左の枠内に記入してください。



県政モニターID番号がご不明の場合は
お手数ですが本人確認のためお名前、
生年月日のご記入をお願いします。

【記載例】 長野 太郎
(昭和22年2月22日)

(年	月	日)
---	---	---	----

県政の課題について下記のとおりお伺いします。

【望ましい県の行政組織のあり方について】

長野県では、「総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン）」を着実に推進していくための県組織のあり方について、本年度検討をしていく予定です。
このため、長野県の「組織」に関する県民の皆様の意識等についてお伺いします。

問1 県では、県政の各分野において、県民ニーズや地域課題を踏まえた取組を推進しなければならぬと考えています。
あなたは、長野県が今後どのような行政分野に力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① 防災・災害に強い県土づくり | ⑧ 雇用対策 |
| ② 地域の活性化 | ⑨ 観光振興 |
| ③ 安全・安心のまちづくり | ⑩ 農林業の振興 |
| ④ 子育て支援・少子化対策 | ⑪ 社会基盤対策(道路、住宅など) |
| ⑤ 高齢者福祉や医療の充実 | ⑫ 教育の充実 |
| ⑥ 環境保全 | ⑬ 文化・スポーツの振興 |
| ⑦ 商工業の振興 | ⑭ その他(具体的に:) |

問2 あなたは、県はどのような点に留意して組織運営をおこなうべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 組織の見直し(スリム化、重点化) | ⑦ 職員の政策立案機能の強化 |
| ② 事務事業の見直し・効率化 | ⑧ 職員のサービス意識の向上 |
| ③ 民間委託の拡大 | ⑨ 分かりやすい課・室構成 |
| ④ 県民・企業等との協働の推進 | ⑩ 情報公開の推進 |
| ⑤ 職員数の削減 | ⑪ 県民等への情報発信 |
| ⑥ 市町村への事務権限の移譲 | ⑫ その他(具体的に:) |

問3 県の組織について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。
(記載例：業務がいくつかの課に分かれており、どこに相談したらいいかわからない 等)

【子どもの性被害の防止について】

これまで、長野県は子どもの健全育成（性被害の防止等）について、全国の都道府県の中で唯一青少年健全育成条例を制定せず、条例による規制ではなく、県民運動の展開、業界の自主規制、行政の啓発の三つを柱とした「県民総ぐるみの運動」により、取り組んできました。

しかしながら、長野県内においては、ここ数年、児童買春・児童ポルノ禁止法違反等、子どもの心身に有害な影響を与え、健全な育成を阻害する事件が増加しています。

子どもを性被害から守るための方策を検討する資料にするため、子どもの性被害の現状と、性被害から守る方策について県民の皆様のお考えをお伺いします。

問4 あなたは長野県の子どもの性被害の現状（この1年程度）についてどう感じていますか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|---------------|------|
| ① 以前より改善している | ⇒問6へ |
| ② 以前と変わりはない | ⇒問6へ |
| ③ 以前より悪化している | ⇒問5へ |
| ④ 深刻な状況になっている | ⇒問5へ |
| ⑤ 分からない | ⇒問6へ |

問5 問4で「③以前より悪化している」、「④深刻な状況になっている」と回答した方にお伺いします。その原因は何だと考えますか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ① インターネット、スマートフォン等の発展・普及
- ② 大人の道徳観の低下
- ③ 子どもの道徳観の低下
- ④ 家庭や地域の教育力の低下
- ⑤ 社会の環境変化によるストレスの増加
- ⑥ 分からない
- ⑦ その他(具体的に)

問6 すべての方にお伺いします。あなたは、子どもの健全育成(性被害の防止等)に取り組んでいる「県民総ぐるみの運動」について知っていましたか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 知っていた ⇒問7へ
- ② 聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった ⇒問7へ
- ③ 知らなかった ⇒問8へ

問7 問6で「①知っていた」、「②聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」と回答した方にお伺いします。

あなたは、今後、子どもを性被害から守るためにどのような対応が必要と考えますか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を続ける
- ② これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)に加え、新たな対策を講じる
- ③ これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を抜本的に見直す
- ④ 分からない

問8 すべての方にお伺いします。あなたが、今後強化すべき又は新たに導入すべきと考える性被害の防止策について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ① 教育現場での性に関する指導(性教育)の充実
- ② インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育
- ③ 業界の自主規制の強化
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 子どもと保護者への啓発
- ⑥ 家庭や地域の教育力の再生
- ⑦ 国の法律による規制の強化
- ⑧ 県による新たな条例による規制
- ⑨ その他(具体的に)

【道路整備について】

私たちの生活に道路は欠かせないものですが、長野県は近県に比べ整備状況が低く、道路についての要望も非常に多く寄せられています。

このため、今後の道路整備のあり方について、県民の皆様のお考えをお伺いします。

問9 あなたは、今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 通勤や買い物などの生活道路
- ② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路
- ③ 市街地の道路
- ④ 山間地の道路
- ⑤ 観光地に通じる道路
- ⑥ 隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)
- ⑦ 高速道路
- ⑧ その他(具体的に: _____)
- ⑨ 整備の必要はない
- ⑩ わからない

問10 あなたが日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理
- ② すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす
- ③ 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善
- ④ 落石、土砂崩れの危険をなくす
- ⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保
- ⑥ 交通渋滞をなくす
- ⑦ わかりやすい標識の設置や道路情報の提供
- ⑧ 自然環境や景観への配慮
- ⑨ バス専用レーンの設置、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用
- ⑩ その他(具体的に: _____)
- ⑪ 現状でよい
- ⑫ わからない

【県産農産物の認知度・購入意識・食生活について】

※問11から13は平成24年度第1回アンケート調査（平成24年8月実施）と同じ調査内容になっており、この間の認知度や意識の変化を把握するためにお聞きします。

問11 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品目等		知っていますか	
		知っている	知らない
◇県が取り組む認定制度について			
①	「おいしい信州ふード（風土）」（※1）	1	2
②	長野県原産地呼称管理制度（※2）	1	2
③	「信州の伝統野菜」制度（※3）	1	2
◇長野県のオリジナル食材について			
①	原産地呼称管理制度 認定ワイン	1	2
②	認定日本酒	1	2
③	認定焼酎	1	2
④	認定シードル	1	2
⑤	認定米	1	2
⑥	信州サーモン	1	2
⑦	信州黄金シャモ	1	2
⑧	信州プレミアム牛肉	1	2
⑨	シナノスイート（りんご）	1	2
⑩	シナノゴールド（りんご）	1	2
⑪	秋映（りんご）	1	2
⑫	ナガノパープル（ぶどう）	1	2
⑬	南水（なし）	1	2

※1 「おいしい信州ふード（風土）」

信州が育む多様な風土の中から生まれた食べ物全ての中から、3つの基準（「プレミアム（厳選素材・厳選基準）」、「オリジナル（独自ブランド・全国上位）」、「ヘリテイジ（伝統野菜・郷土食）」）で厳選した食べ物を、「おいしい信州ふード（風土）」と称し、長野県の統一ブランドとして発信・定着する取組を行っています。

※2 原産地呼称管理制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

- 認定基準
 - ①長野県産の原料を使い県内で生産され、
 - ②一定の品質基準を満たし、
 - ③官能審査に合格したもの。

○現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（上記表の5品目）



※3 信州の伝統野菜制度

「信州の伝統野菜」の保存と伝承を計るため、品種特性や食文化を調査し、より多くの人に伝えるための制度。

○選定基準：長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」、「食文化」、「品種特性」の3項目について一定の基準を満たしたものの。



問12 あなたは、日頃、農産物を購入する際に「長野県産又は地場産」を意識していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品 目	常に意識して購入している	時々意識して購入している	意識していない	わからない
① 米	1	2	3	4
② 野菜	1	2	3	4
③ 果実	1	2	3	4
④ 食肉	1	2	3	4
⑤ きのこと	1	2	3	4

問13 あなたは、日常の食生活において、次の項目をどの程度実践していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	ほ でと きん てど いる	お でお きむ てね いる	あ でま きり てい ない	ま つ でた きて く い ない
① 食事を楽しむ	1	2	3	4
② 主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	1	2	3	4
③ ごはんなどの穀類をしっかりとする	1	2	3	4
④ 家庭で料理をつくる際に、時々地元農産物を利用する	1	2	3	4
⑤ 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	1	2	3	4